

【2020 年の全国の介護施設等の不足数は 180.9 万人分と推計】

高齢者住宅マーケット動向の予測に役立つデータ集

『都道府県・市区・エリアデータ集 2016』本日発行

株式会社タムラプランニング&オペレーティングは、全国 322 自治体の第 6 期介護保険事業計画や当社が保有する最新の介護施設等のデータを基に、今後の介護施設等の需給に関する推計を行い、その結果についてとりまとめた「都道府県・市区・エリアデータ集」を 12 月に発行いたしました。

エリアによって将来の介護施設等の需給バランスは異なりますが、都市部エリア（政令指定都市、中核市、特別区、首都圏・関西圏全市）において、より一層介護施設等の需要が増加し、それへの対応が厳しいエリアであることが鮮明になりました。これらのエリアにおいては、特養や特定施設等の需要や、居宅サービスにおけるマンパワー確保が、今後一層求められることになると考えられます。推計結果のポイントは以下のとおりです。

2020 年の全国の介護施設等の需要 373.4 万人に対して供給は 192.5 万人分に留まり、180.9 万人分が不足する

介護施設等の需要量を要介護 2 以上と仮定すると、2020 年には、全国の需要数 373.4 万人に対して、その時点の介護施設等の供給数は 192.5 万人分に留まり、2020 年には 180.9 万人分の受け皿が不足すると予測される。

2020 年における介護施設等の供給不足数推計

	単位:人	
	2015年	2020年
1.介護老人福祉施設	588,664	702,165
2.介護老人保健施設	370,665	402,965
3.介護療養型医療施設	64,128	64,128
4.グループホーム	200,762	240,189
5.特定施設入居者生活介護	212,340	265,663
6.定期巡回・随時対応型サービス	15,197	41,978
7.夜間対応型訪問介護	8,179	8,179
8.小規模多機能	85,523	146,906
9.看護小規模多機能	5,176	52,789
供給推計	1,550,634	1,924,963
需要推計(パターン1/要介護2以上)	3,146,671	3,733,593
介護施設等の供給不足数(需要数パターン1-供給数)	1,596,037	1,808,630

当調査における需要数とは、「施設あるいは在宅で包括ケアを必要とする層」と位置付けられる要介護 2 以上の高齢者数を指します。

当調査における供給数とは、施設系・居住系・地域密着型サービスにおける当年の新設または増床による定員増加数（当年末の定員数 - 前年末の定員数）を指します。なお、地域密着型サービスは弊社が独自収集した事業所数に満床定員を想定し、算出しており、認知症対応型デイ・地域密着型デイを含みません。

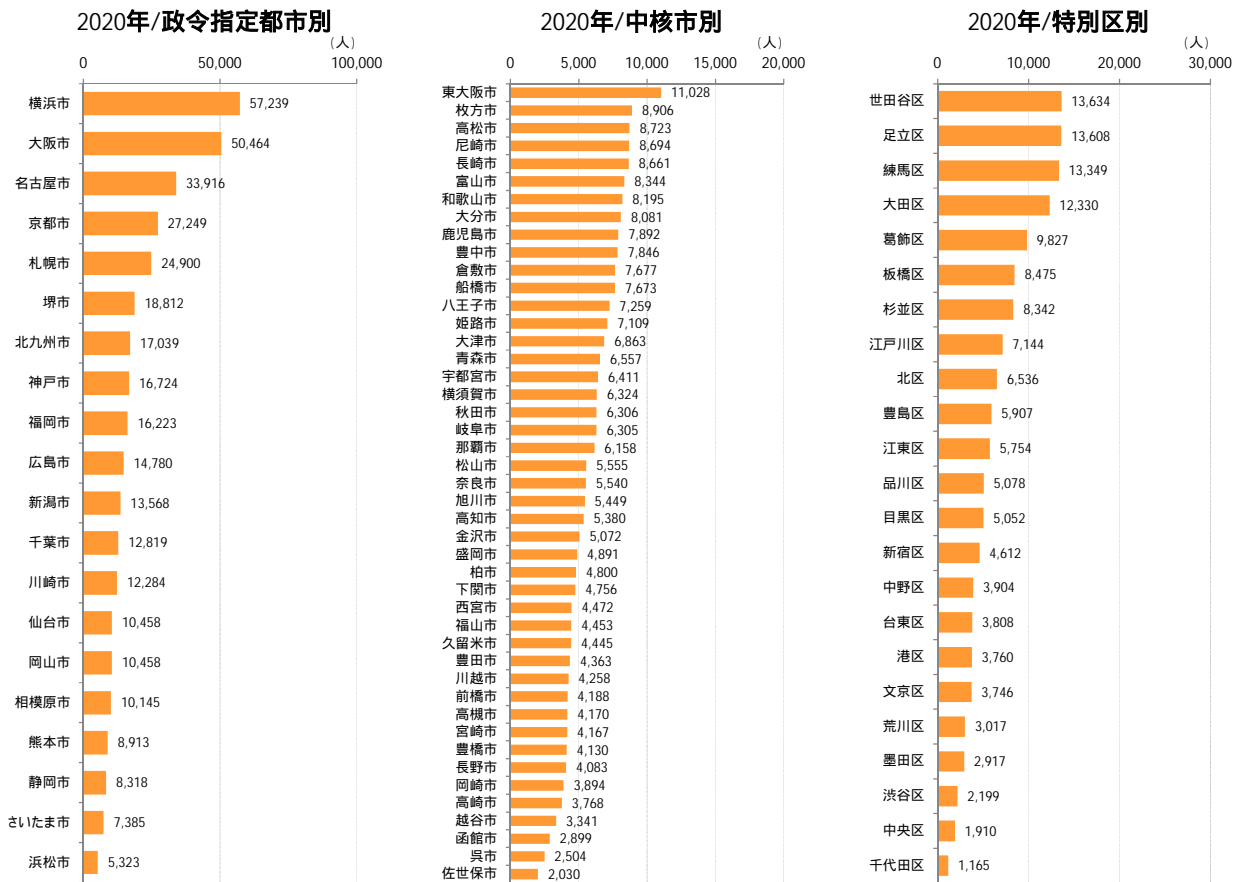
横浜市や大阪市では5万人分以上が不足する

需要量を要介護2以上と仮定した場合、いずれの自治体でも供給不足の状態が2020年に渡って続く見込みである。

政令市別に見ると、横浜市と大阪市では2020年時点で5万人分以上が不足している。中核市では、東大阪市が1.1万人分と突出しており、特別区別に見ると、世田谷区、足立区、練馬区、大田区において不足量が1.2万人分以上と大きい。

市区別の介護施設等不足状況の推計結果

(需要量：要介護2以上と仮定)



本件に関するお問い合わせ先 = = = = =

株式会社タムラプランニング&オペレーティング

TEL : 03-3292-1107 担当 : 渡辺(信孝)・兵頭

メールアドレス : tamurakikaku-a@tamurakikaku.co.jp

本データ集の詳細については、弊社までお問い合わせ下さい。

会社概要 = = = = =

会社名 : 株式会社タムラプランニング&オペレーティング

所在地 : 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-13 大手町宝栄ビル601号

代表者 : 代表取締役 田村明孝

設立 : 1987年9月 U R L : <http://www.tamurakikaku.co.jp/>

主な事業 : 高齢者住宅の開設コンサルティング及び調査・研究業務 / 高齢者住宅に関するデータ提供(TPデータ・サービス) / 高齢者住宅の関連企業との連携(タムラプランニングアライアンス)等